

農業の新しい技術

No. 749(令和5年(2023年)6月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

黒毛和種種雄牛「幸勝平」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：福島敬太

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、産肉能力現場後代検定及び育種価評価を実施し、その結果に基づき優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 枝肉重量とばらの厚さに優れた黒毛和種種雄牛「幸勝平」を選抜した。

○血統

父	平茂幸 (黒 13942)	祖父	平茂勝(黒原 2441)	—	第20平茂(黒育 134)
		祖母	うらら(黒 1991357)	—	紋次郎(黒高 938)
母	ひめ (黒高 209650)	祖父	平茂勝(黒原 2441)	—	第20平茂(黒育 134)
		祖母	やすひめ(黒高 208293)	—	安平(黒原 2208)

○登録番号：黒原6084

○生年月日：平成28年5月10日

○生産地：上益城郡山都町(飯星 敏)

2. 現場後代検定成績および育種価

○枝肉重量は去勢550.5kg、雌473.5kgと非常に優れ、去勢で歴代最高の成績となった。育種価でも130.73kg(評価種雄牛2,881頭中6位)と極めて高い評価となった。

○ロース芯面積とばらの厚さは、全体平均でそれぞれ67.3cm²、8.5cmと優れ、ばらの厚さは歴代最高の成績となった。育種価は20.95cm²(評価種雄牛2,881頭中98位)、1.87cm(同19位)といずれも高い評価となった。

○BMSNo.は去勢が9.5で歴代最高の成績となり、育種価でも2.50(評価種雄牛2,881頭中102位)と高い評価となった。

○SBV¹⁾は枝肉重量3.09、BMSNo.1.97、ロース芯面積2.09、ばらの厚さ2.97、皮下脂肪の厚さ1.26とすべての項目について改良効果が大いいと推定される。

1)SBV(標準化育種価)とは、産肉能力の特徴を把握しやすくするため、各形質の育種価を同一スケール上で比較できるよう加工したものの。

3. 特徴

本牛は第11回全国和牛能力共進会の第1区(若雄の部)で優等賞を受賞した経歴を持ち、種牛性の面で全国上位レベルである。現場後代検定成績では、すべての項目で歴代トップクラスの成績であり、県有種雄牛「平茂幸」の後継として、肉量、肉質の両面で改良への貢献が期待される。

[具体的データ]

熊本県農林水産部

幸勝平産子(去勢)の
枝肉写真及び枝肉成績



幸勝平 (ゆきかつひら)

格付け:A-5 枝重:556.8kg
BMS:12 ロース:87cm²
ばら:9.5cm 母の父:茂久桜

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	BMS No.	ロース 芯面積 (cm ²)	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	歩留基準値
去勢	10	550.5	9.5	69.2	8.6	1.9	75.6
雌	9	473.5	6.2	65.2	8.3	2.2	75.6
全体	19	514.0	7.9	67.3	8.5	2.0	75.6

表2 育種価(BV) (R5. 1月評価)

	順位	育種価	(正確度)
枝肉重量 (kg)	6	130.73	(0.91)
BMS No.	102	2.50	(0.91)
ロース芯面積 (cm ²)	98	20.95	(0.91)
ばらの厚さ (cm)	19	1.87	(0.89)
皮下脂肪の厚さ (cm)	295	-0.82	(0.91)
歩留基準値	111	3.21	(0.91)

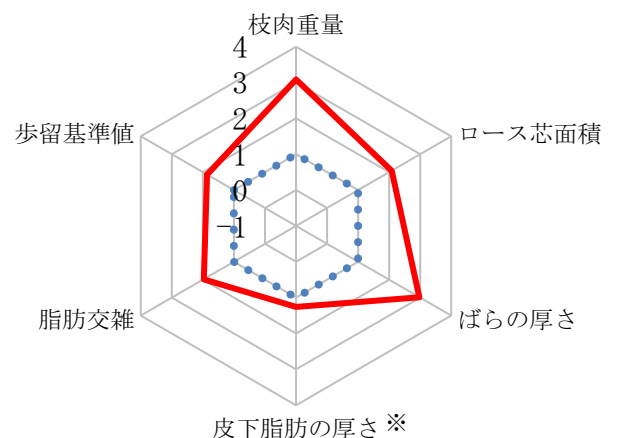


図1 SBV (標準化育種価)

※ 皮下脂肪は逆符号

後代頭数 19 頭(フィールド成績を含む)

順位は評価種雄牛 2,881 頭中の順位